

第3回 JGJA ゴルフミーティング

～持続可能なジュニア育成モデルの構築を目指して～

会社概要

お問い合わせ

smilegolfschool.ohara@gmail.com

<https://smilegolfschool.com>



tel. 090-4278-1005

《八家校》八家ゴルフセンター

《大開校》大開ゴルフ

《赤穂校》シーサイドゴルフガーデン

《インドアゴルフ土山校》DREAM HOUSE

会社名	スマイルゴルフスクール
代表	小原 高幸
所属	NGF 日本ゴルフ財団 特別ティーチングプロ NGFプロティーチングゴルフ協会会員
	兵庫県立赤穂高等学校 特別非常勤講師
	一般社団法人 ジュニアゴルフチーム連盟 関西ジュニアゴルフチーム連盟 兵庫県支部長
	公益社団法人 全日本ゴルフ練習場連盟 JGRAジュニアゴルファー検定 検定員 JGRAジュニアゴルファー検定 認定検定事業所
	姫路市ゴルフ協会 理事
	日本ゴルフジャーナリスト協会会員
	一般社団法人 日本健康ゴルフ共創機構
設立	2017年9月
事業内容	ゴルフスクール事業

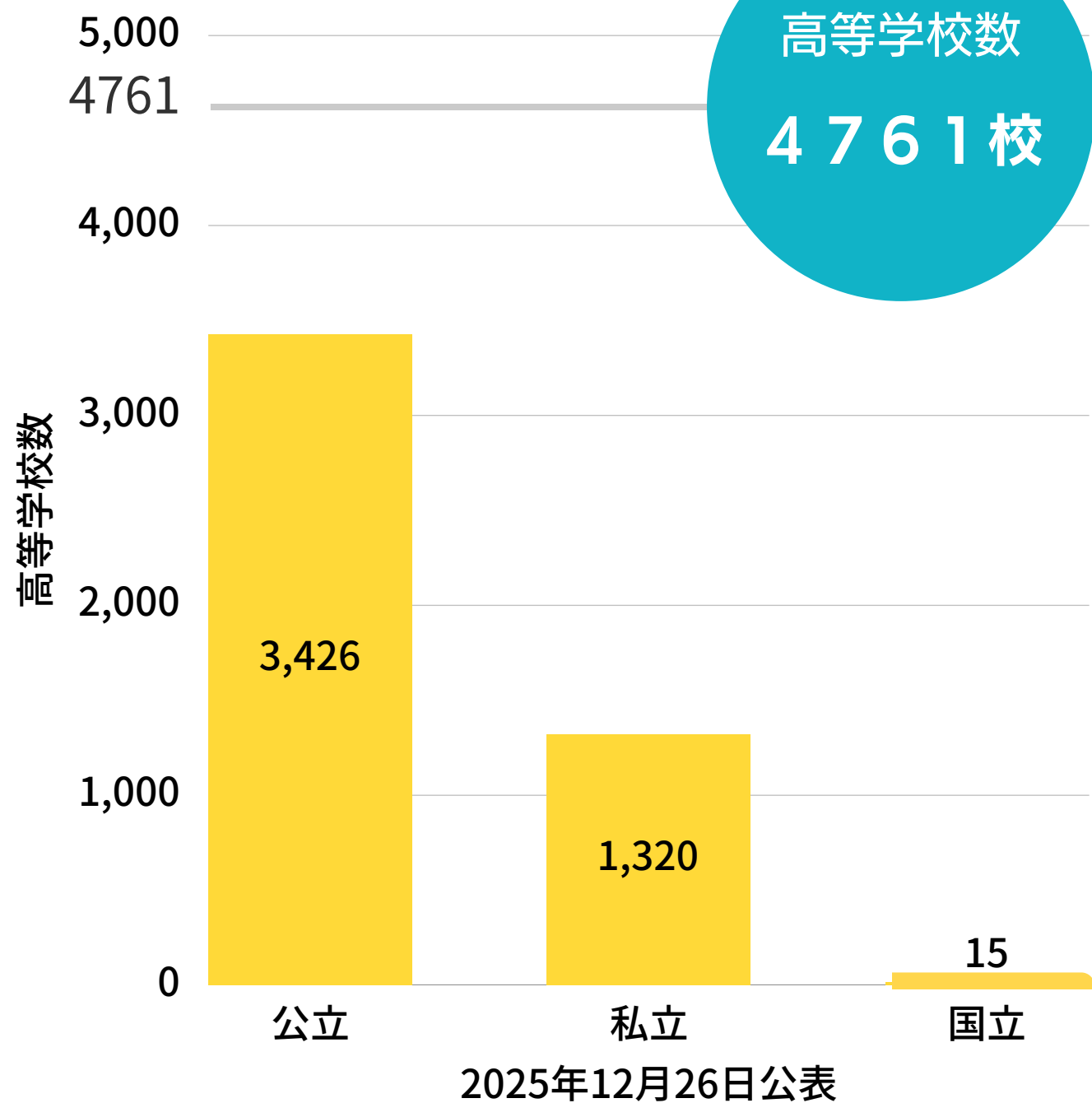
INDEX

- 01 全国高等学校数とゴルフ部数
- 02 赤穂高等学校とゴルフ実習について①
- 03 赤穂高等学校とゴルフ実習について②
- 04 公立中学校の部活動地域移行について
- 05 部活動地域移行改革の背景や目的
- 06 部活動地域移行の課題
- 07 当スクール受講生比率
- 08 持続可能なジュニアゴルフ育成モデルへ

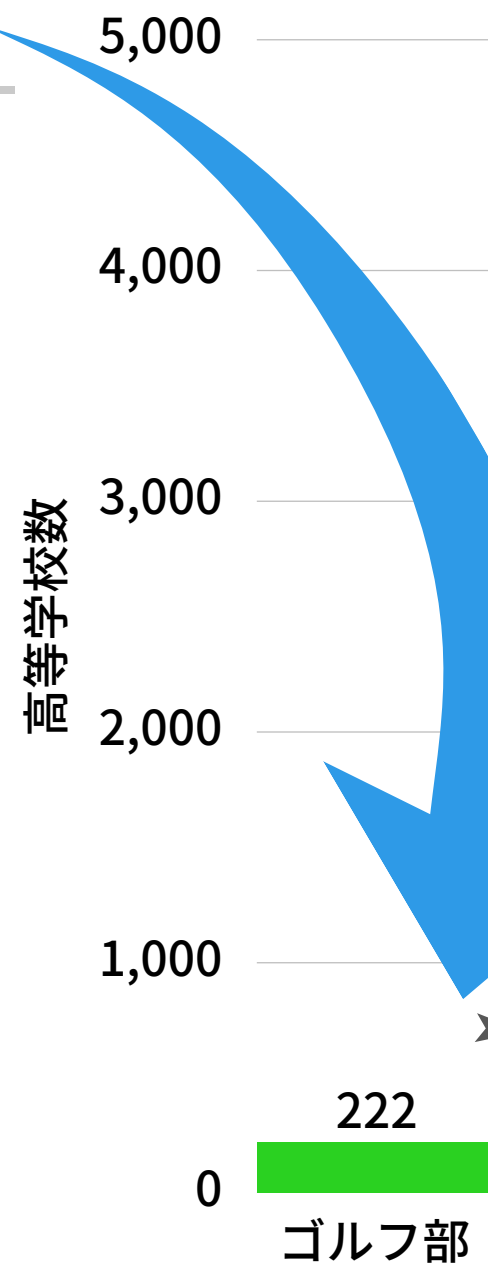
全国高等学校数とゴルフ部数

全国の高等学校数 4761校

文部科学省 2025年12月26日公表



高等学校数
4761校

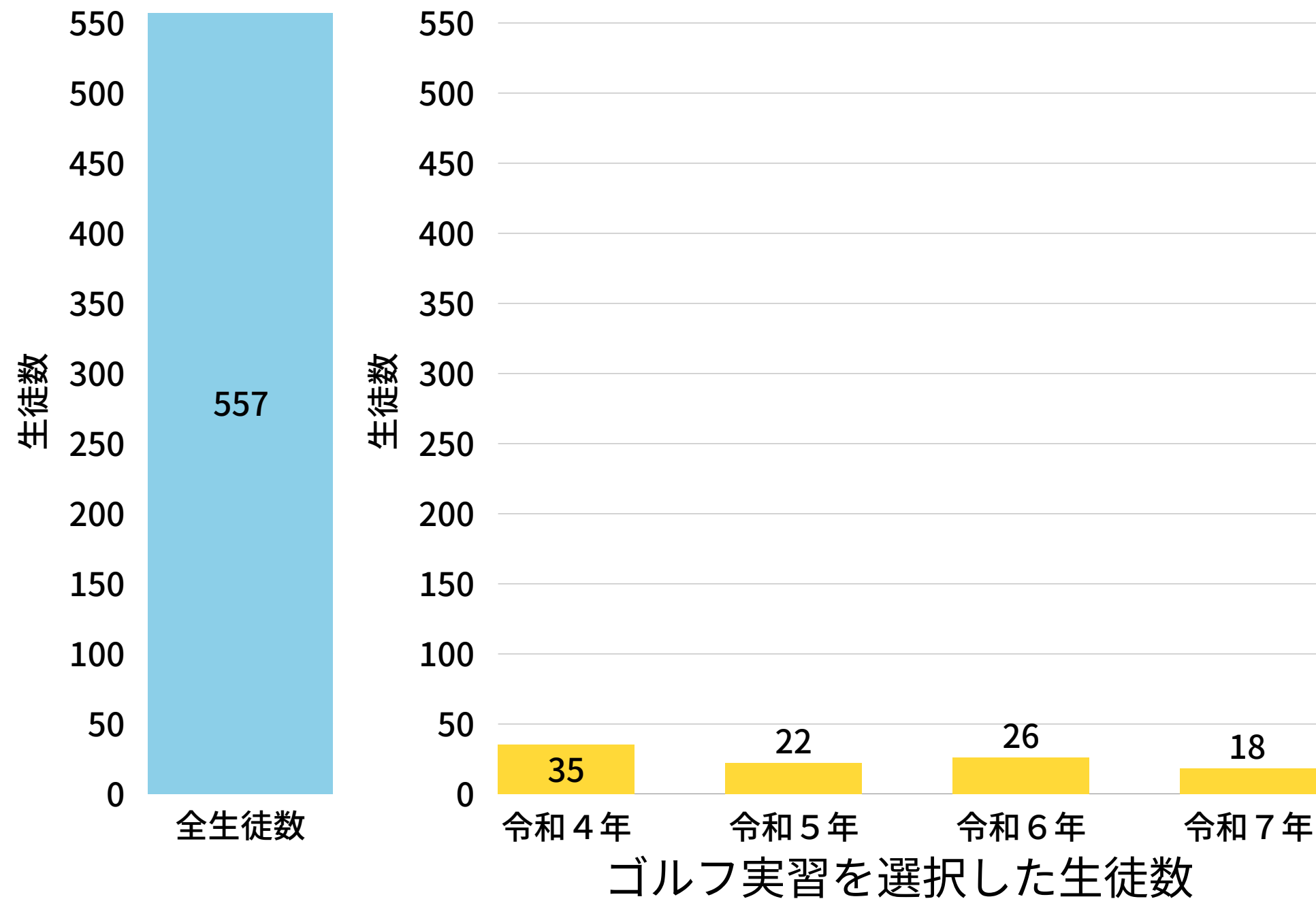


全国4761校のうちゴルフ部がある
222校の高等学校はほぼ私学。
(公立は県に1~2校のみ)

わずか
約4.6%

02

赤穂高等学校とゴルフ実習について①



兵庫県立赤穂高等学校

令和4年より非常勤講師としてゴルフ実習を実施しています。全学年の生徒は体育授業の一貫として「スポーツ実習」で実習科目を選択します。

令和7年の全生徒数は557名。その内実習科目としてゴルフを選択した生徒は毎年平均20名ほどになります。

03 赤穂高等学校とゴルフ実習について②

■授業内容

場所：高校グラウンド、体育館、近隣の契約ゴルフ練習場

内容：座学（ルール・マナー）、ゴルフフィットネス（体幹軸の重要性）、実技（フォーム指導、団体戦、個人戦）

目的：①審判のいないスポーツを通じた高い倫理性と自律心の養成

②自ら解決策を導き出す思考力の向上

③感情をコントロールし、自己管理能力の構築

④生涯を通じて持続可能なスポーツライフの基盤作り

■今後の課題

- 若年層の人口減少（少子化問題）
- ゴルフに触れる「場」の不足
- 中学部活動の地域（民間）移行による認知の低下



04 公立中学校の部活動地域移行について

教員からプロへ、学校から地域へ

現在、文部科学省を中心に、少子化や教員の働き方の見直し等を受けて、部活動を地域で担っていく取り組みがなされております。少子化が進展しており、学校で設置されている部活動数が減少している中、部活動がある種目についても、「専門的な指導者がいない」「部員が減少している」など、中学生が活動できる機会が縮小しております。

これからの持続可能な文化・スポーツする場を確保していくために全国的に部活動を地域展開する取り組みが進められております。

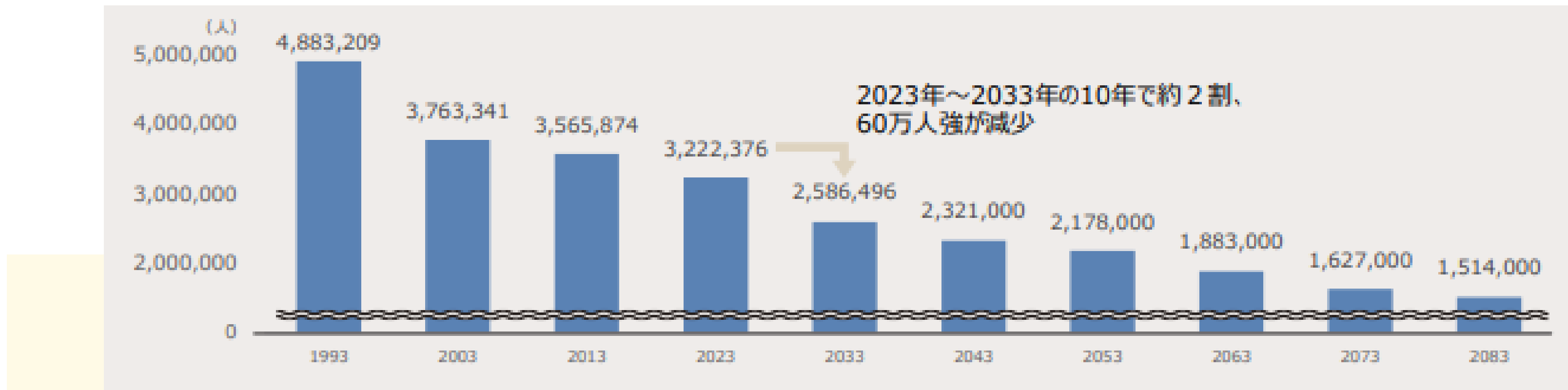


部活動地域移行改革の背景や目的

- 学校部活動の意義
- 学校における働き方改革
- 生徒のニーズ変化
- 少子化問題



■中学生年代の人口予測





アクセスの確保

移動（送迎）手段の負担



コストの壁

道具代、プレイ代



指導者の確保

質の高い指導者の確保



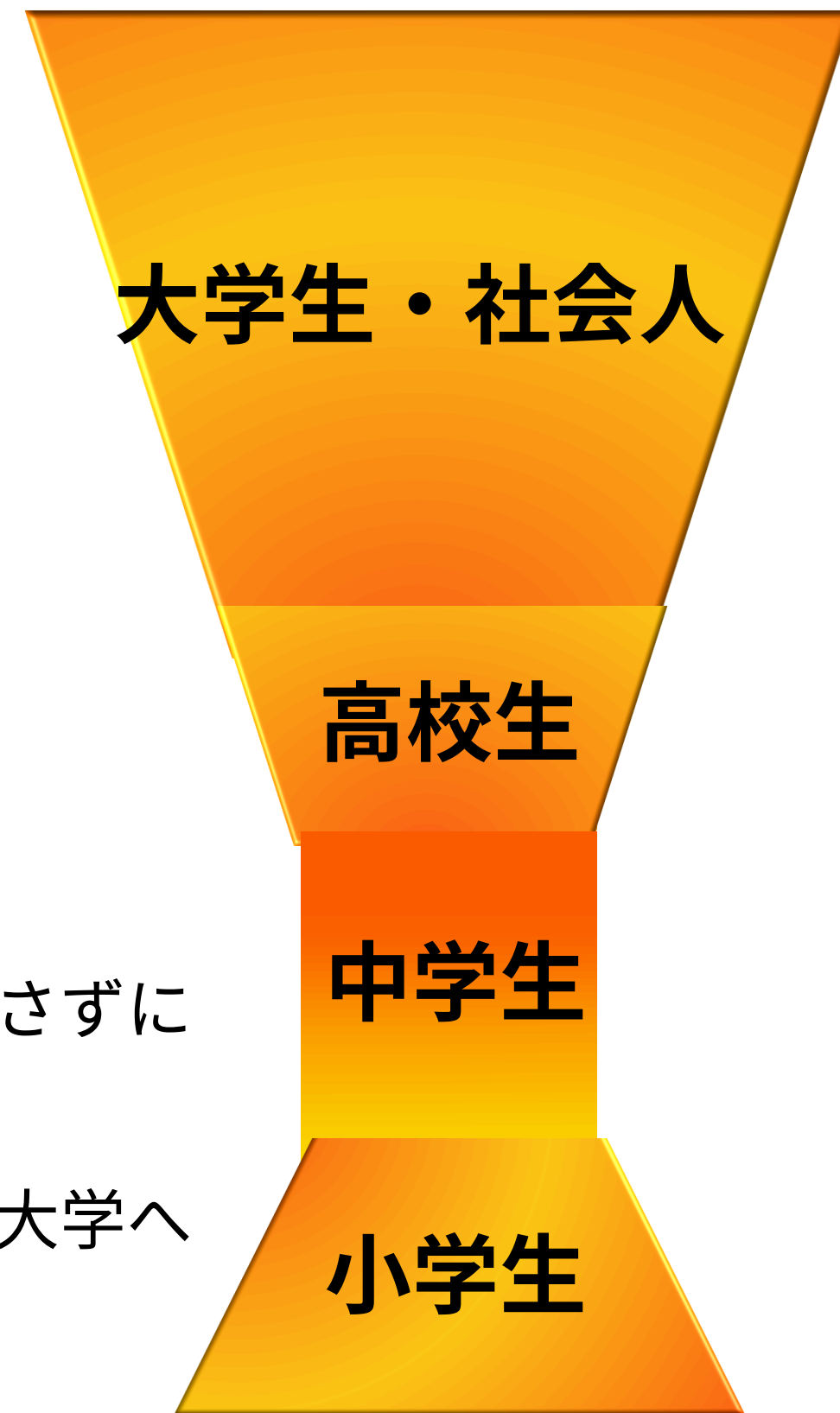
場所の確保

受入れ民間施設の確保

当スクール受講生比率

持続可能なゴルフ界へ

- 少子化により、入り口である小学生の層が極端に薄くなっています。
- 小学校で始めても、中学に部活がない、あるいは地域移行の混乱で受け皿がないため、中学で一度混乱します。
- 下からの移行が途絶えたまま高校・大学だけが残っており、将来的に競技そのものが存続の危機にあります。
- 分母（子供の数）が減った現代では、始めた子を一人も漏らさずに上につなげる移行が必要です。
- 中学の受け皿（地域クラブ活動への移行）を強化し、高校・大学へとつなぐ「一貫した育成環境」が不可欠です。



※構成比は当スクールの運営実感に基づくイメージ図

持続可能なジュニアゴルフ育成モデルへ



創る

ゴルフ人口の持続的な創出



繋ぐ

持続可能な一貫育成システム
の確立



育む

生涯にわたる持続的な成長と
人間形成